

[okazaki_121]

活動タイトル	ワットモニター出前授業
実施日	2020年10月5日
場所	江別市立江別太小学校(江別市)
対象数	68人
内容	<p>小学校6年生を対象に、総合学習の一環として、各クラス45分の「ワットモニター出前授業—はかってみよう、みんなにできること—」を行いました。身近な家電の消費電力測定を通して、地球温暖化を緩和するために、それぞれができることを考えることをねらいとしました。</p> <p>まず、自己紹介で所属する北海道グリーンファンドの取り組みを説明する中で、風力発電の発電量が何世帯分に相当するかを3択のクイズで問うことを導入としました。そこから、W、Whの説明をした後、3種類の電球(白熱電球、電球型蛍光灯、LED電球)、ドライヤー(ドライとクール)、掃除機(強・中・弱)、TV(ダイナミックとスタンダード)の消費電力を簡易検電器「ワットモニター」で測定しました。測定前に、多い順番を予想してもらうことで、測定後の結果がより印象に残るように工夫しました。ワットモニターの数値は、実物投影機を通して、スクリーン上に大きく表示されるので、全員で確認することができます。</p> <p>その後、それぞれの平均的な使用時間をもとに、CO₂排出量を算出(エクセルでWの測定値(W)と使用時間を入力すると、排出量が出るように事前に設定)。消費電力の順番と、使用時間を反映した順番が異なることを確認しました。</p> <p>次に、CO₂排出量から、温暖化の解説へと展開しました。その際は、2年前の江別の台風被害の写真を使うなど、なるべく身近なこととして考えられるよう心がけました。</p> <p>最後に、「へえ!と思ったことややってみようと思ったこと」を記載する時間を設けたあと、何人かの児童に発表してもらい、ふりかえりしました。「掃除機はコンセントをさしているだけでも、電気(たいき電力)が使われていることにおどろいた。これからは、消費電力の少ない物を使ったり、節電を心がけようと思いました。」「省エネをしたり、時と場合におうじた使い方をする。電気をこまめに消したりして、むだに使わない。」などの感想がありました。</p> <p>先生からは、「実際に見て、消費電力を確かめることができ良かった」という感想と、子どもたちの体験を望む意見をいただきました。45分弱という時間内で、初めて会う子どもたちとやりとりをしながら、ふりかえりまで行うのは、なかなか大変だなあ、と思いました。特に、今年は、マスクをつけての授業だったので、話をするのも、聞くのも大変でした。どんな改善ができるか、考えていきたいと思いました。</p>
実施写真等	